



通信 May.

色とりどりのツツジが道路に落ちて、新緑とのコントラストが美しいですね。快適な気温となり、学習もしやすいので、今がチャンスです。頑張りましょう！
個個港学舎 舎長 八木貴子

学習状況のお知らせ

6/1(土)第1回英検を準会場として実施します。特別講習もあり、直前は教室が混雑します。自習予約は、お早めをお願いします。

中高生は間もなく定期テストが実施されます。提出物とテスト勉強が重なり合わないよう、プリントやノートも小まめに整理して早めの準備が必要です。また塾では定期授業でない科目も受講できます。早めに相談して下さい。



文化遺産-30-来訪神その5

◆悪石島(あくせきじま)のボゼ◆

鹿児島県は本土の南端であり、大和文化圏と琉球文化圏が交わるところに位置しており、かつ、多くの離島があることで、独自に形成された多種多様な民俗芸能が伝承され、民俗芸能の宝庫と言われていいます。その中でも十島村・悪石島に伝承されている「**悪石島のボゼ**」を紹介します。



トカラ列島・悪石島には仮面神ボゼの祭りがあります。トカラの島々には全島に平家の落人伝説も残っており、ここに南の国からの来訪神であろうユニークな顔のボゼ神が伝わって面白い行事になっています。悪石島の盆踊りは県指定の無形民俗文化財になっていて、「俵おどり」や「魚釣り踊り」「花踊り」など7つもの盆踊りが伝わっています。旧暦の7月7日から16日まで行われ、踊りは男性だけが参加し、先頭で鉦をならして輪になり、お墓や寺跡などを回ります。



最終日には仮面神ボゼが登場します。ボゼには3名の若者達が扮し、呼び太鼓の音に導かれて、盆踊りで人々が集まる広場に現れます。

頭には大きな耳のようなものがあり、その根元にお椀のような目と大きく開いた口、色は赤土と墨を縦縞模様塗りつけられた異様な仮面を被り、体にはビロウの葉を巻き付け、手足にはシュロ皮やツグの葉をあてがいます。手にはそれぞれ「ボゼマラ」、「マラ棒」と称する長い杖を持っています。その長い杖で子供を突つき、棒に塗られた赤土が付くと悪魔払いになるそうです。子供達は何かにつけ「ボゼが来るぞ」と脅かされているようで、怖がりかたは尋常ではありません。ボゼの面は、毎年、旧暦7月14日から3日間かけて、島の青壮年によって作られ、用が済んだら形が残らないように壊して、テラ(共同墓地の中にある無人寺の空き地)の裏山へ捨てます。

類似の行事は南西諸島に分布していますが、その中でも悪石島のボゼは、民間信仰や神観念の形態をよく示し、トカラ列島における来訪神行事の典型例であると言われていいます。盆踊り保存会の会長は「今年のボゼも元気があった。これからも、もっと多くの人に見に来てほしい」と話しました。



八木家の食卓

春は花粉や大気汚染、新生活のストレスなど、さまざまな要因で、肌にとって過酷なシーズン。そんな時こそ、栄養をしっかりとって乗り切りましょう。

ポリフェノールの一種であるアスタキサンチンが豊富な白身魚、鮭(鮭は白身魚なんです)と、鉄分や食物繊維が豊富なほうれん草とチーズ入りのソースで、美肌への相乗効果が期待できます。

「鮭のムニエルチーズソースがけ」

脂ののった鮭に、コクのあるほうれん草入りチーズソースをかけたムニエルです。ボリューム感があり、ご飯にもよく合います。チーズとほうれん草の量はお好みで加減してください。

材料(4人分)◆鮭の切り身:4切れ、冷凍ほうれん草:100g、牛乳:200ml、ピザ用チーズ:100g、バター:

大4、薄力粉:適量、塩、コショウ:適量

作り方◆①ほうれん草は解凍しておく。②鮭の切り身に塩、こしょうをして、小麦粉をまぶす。③バターをひいたフライパンでこんがり焼き色がつくまで焼き、皿に取り置く。④バターを足してほうれん草、小麦粉大2を炒め、牛乳を加え、とろみがついたら、弱火にしてチーズを混ぜ込み、溶かす。⑤塩こしょうで



味を調べ、鮭の上にかけて、出来上がり。付け合わせはグリーンアスパラなどいかがでしょうか？

4月29日八木家メニュー